

環境経営レポート

【2023年度】



対象期間:2023年4月1日～2024年3月31日

発行日:2024年6月30日

改訂日:2025年2月3日

1. 環境方針	．．．	3
2. 会社概要	．．．	4
3. エコアクション21機構図（適用範囲）	．．．	5
4. 主な環境経営活動計画（部署別）	．．．	6
5. 主な環境経営活動（その他）	．．．	7
6. 実績と環境経営目標	．．．	8
7. 環境経営活動の達成状況 評価及び2022年度の取組	．．．	9～11
8. 環境関連法規の順守状況と関連事項	．．．	12
9. 代表者による全体評価と見直し結果及び指示事項	．．．	13

基本理念

株式会社ナガノトマトは、豊かな自然環境に恵まれた信州松本の地で、安全で安心な食料品の製造を行っています。このかけがえのない信州の自然を次の世代に引き継いでいくため、環境保全に対する認識を深め、あらゆる環境負荷の低減に取り組みます。

基本方針

1. 当社の事業活動において環境に与える影響を考慮し環境目標を定め、全社員が環境保全に取り組む、環境マネジメントシステムによる環境汚染の予防と継続的改善に取り組めます。
2. 下記の項目については、優先的に取り組めます。
 - (1) 省エネルギーの推進
 - (2) 省資源・生産性向上の推進
3. 環境関連の法律・規制・協定を順守します。

2019年8月1日



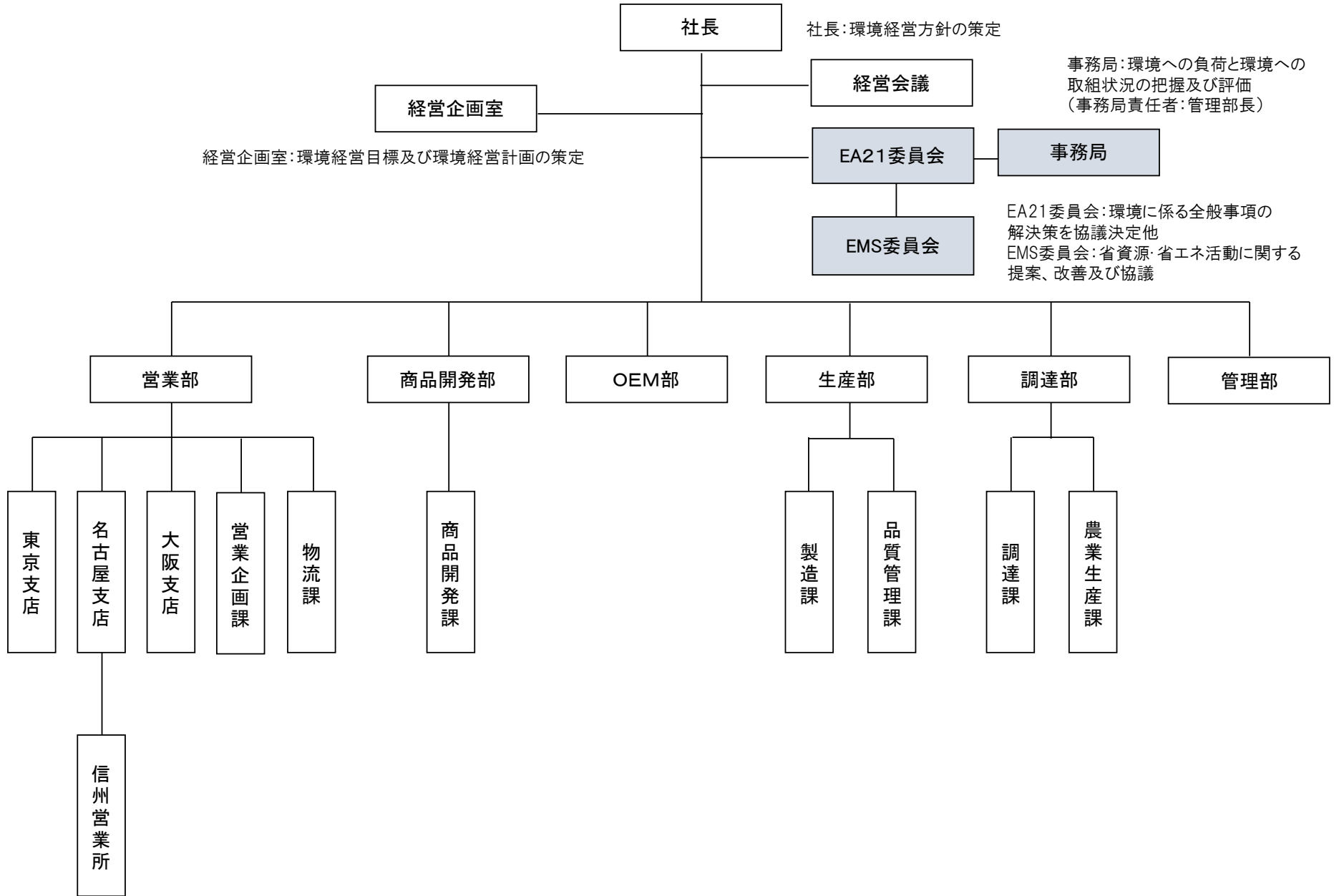
株式会社ナガノトマト
代表取締役社長

井垣孝夫

商号	株式会社ナガノトマト
設立	1957年（昭和32年）
資本金	1億円
代表者	代表取締役 井垣孝夫
売上高	5,440百万円（2024年3月31日決算）
事業年度	4月～3月（2019年より）
従業員数	164名
業務内容	トマト加工品、なめ茸製品の製造及び販売
所在地	

本社・工場、信州営業所	長野県松本市村井町南3-15-37
物流課	長野県松本市今井松本道7219-1
東京支店	東京都千代田区神田錦町2-4 ダヴィンチ小川町4F
名古屋支店	愛知県名古屋市東区葵3-7-16 千種ウエストビル6F
大阪支店	大阪府吹田市江坂町2-1-43 KYUHO江坂ビル3F

3.エコアクション21機構図(適用範囲)



5. 主な環境経営活動(その他)

■EMS委員会の開催

・EMS目標の進捗管理、廃棄物排出実績及びエネルギー使用状況報告、改善策の検討・実施、工程内廃棄ロス削減による廃棄物排出量の削減、各部署における環境負荷低減活動報告等を月1回開催しました。

■非常事態訓練の実施

- ・5/26: 排水施設 硫酸の流出を想定した訓練
- ・8/21: タンク原料の流出を想定した訓練

■社員教育の実施(EA21推進に向けて)

- ・5/26: 本社
- ・10月: 東京支店・名古屋支店・大阪支店・物流課

■社内向け情報「環境トピックス」の発信(四半期毎)

- ・6/26 ・9/28 ・12/19 ・3/27

■環境美化活動の実施(本社構内,構外清掃活動)

- ・4/27 ・5/24 ・6/23 ・6/29 ・7/20
- ・7/27 ・8/24 ・10/20

■フロン使用機器簡易点検の実施

- ・6,9,12,3月: 各部署にて点検実施



5/26社員教育



9/28 環境トピックス



8/21非常事態訓練

6.実績と環境経営目標

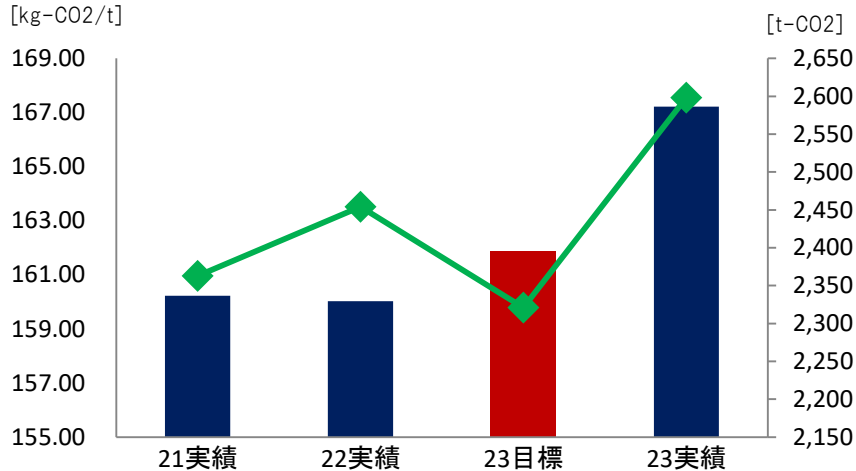
全社目標	目標値	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			2024年度
			実績	実績	実績	実績	目標*6)	実績	達成状況	目標*7)
二酸化炭素排出量削減 *1)		kg-CO ₂ /t	168.23	167.43	160.23	160.03	161.86	167.22	×	160.21
廃棄物排出量削減 *2)		kg/t	52.91	52.82	49.19	52.45	50.54	51.34	×	50.03
水使用量削減 *3)	2019-21年比 原単位 2%削減	m ³ /t	13.73	14.74	13.78	13.77	13.79	13.94	×	13.65
食品廃棄物等発生量削減 *4) 及びリサイクル率100%維持		kg/t	5.64	12.54	8.82	14.38	8.81	12.35	×	8.72
			100%	100%	100%	100%	100%	100%		100%
化学物質使用量削減 *5)		kg/t	1.14	0.96	0.96	0.95	1.00	0.96	○	0.99
[製造重量]		t	14,010	13,827	15,053	15,616	15,840			—

サ
|
環
|
境
|
性
|
能
|
の
改
向
善
上

電子マニフェストへの切替
 ホトル用フィルムのバイオマスインキ化、樹脂の厚み減
 製品の賞味期限延長

- *1)二酸化炭素排出量算出対象：本社・工場、物流課、各支店の使用エネルギーの合計数値です
 電力の二酸化炭素排出係数：電気事業連合会公表数値 0.423kg-CO₂/kWh(2005年)を使用しています
- *2)本社・工場、物流課の合計数値です
- *3)本社・工場の合計数値です
- *4)本社・工場、物流課の合計数値です
- *5)工場の数値です。2020年度より対象の化学物質の内容を変更したため、過去の目標値を設定し直しています
- *6)2023年目標値は、2019-21年度比2%削減を目標として設定しています
- *7)2024年目標値は、2019-21年度比3%削減を目標として設定しています

7.環境経営活動の達成状況 評価及び次年度の取組①



■二酸化炭素排出量削減

【評価(2024年3月末): ×】

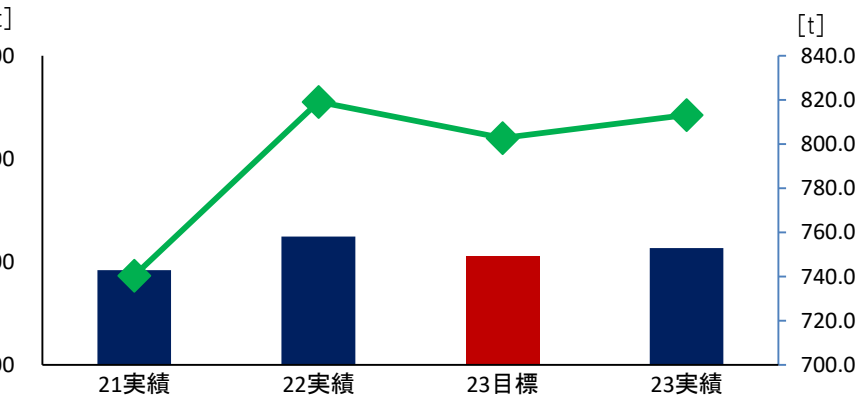
2019-21年度実績の平均に対して原単位2%削減を目標に設定しました。3月末で2023年度目標に対して原単位3.3%の増加となりました。主な要因として、ガスの使用量が増加したことが挙げられ、排出総量も増加しました。

【2024年度の取組】

効率的な生産計画の立案に取組みます。また、計画的な設備更新を実施し生産効率の向上を図ります。

項目	21実績	22実績	23目標	23実績
CO2排出原単位 [kg-CO2/t]	160.23	160.03	161.86	167.22
CO2排出量 [t-CO2]	2,363	2,454	2,321	2,598

■ CO2排出原単位 [kg-CO2/t] ◆ CO2排出量 [t-CO2]



■廃棄物排出量削減

【評価(2024年3月末): ×】

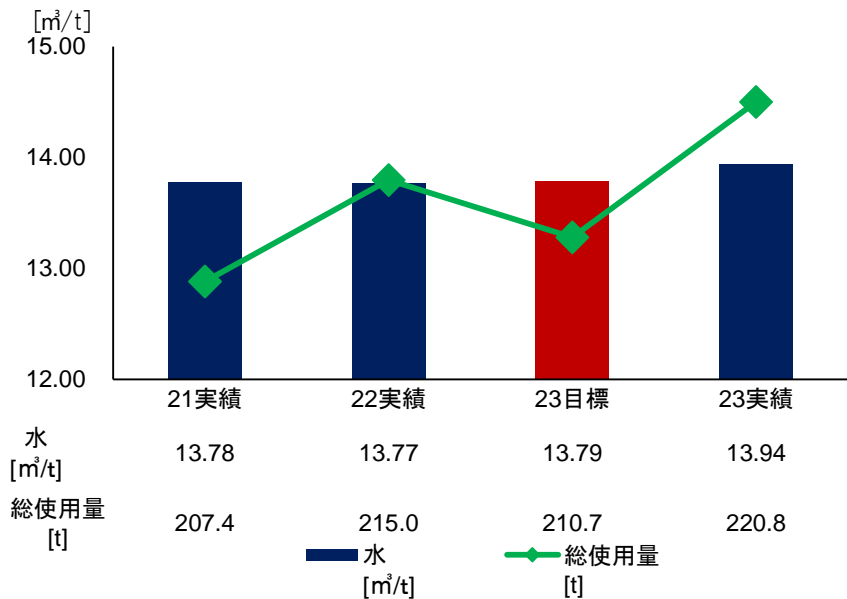
2019-21年度実績の平均に対して原単位2%削減を目標に設定しました。3月末で2023年度目標に対して1.6%の増加となりました。主な要因として汚泥の発生量が前年度比2.5%増加したことが挙げられます。

【2024年度の取組】

排水の状態を安定させ、汚泥発生量の削減を図ります。

項目	21実績	22実績	23目標	23実績
廃棄物 [kg/t]	49.19	52.45	50.54	51.34
総排出量 [t]	740.4	819.1	802.7	813.2

■ 廃棄物 [kg/t] ◆ 総排出量 [t]



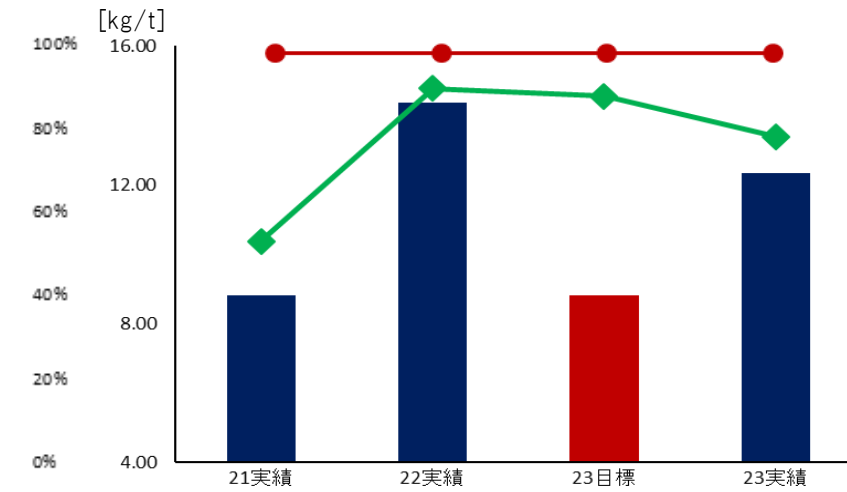
■水使用量削減

【評価(2024年3月末): ×】

2019-21年度実績の平均に対して原単位2%削減を目標に設定しました。3月末で2023年度目標に対して1.1%の増加となりました。主な要因として、製造アイテムの構成が変わったことにより、原単位当たりでは増加になりました。

【2024年度の取組】

漏水箇所の点検により使用量削減を図ります。



■食品廃棄物等発生量削減

【評価(2024年3月末): ×】

2019-21年度実績の平均に対して原単位2%削減を目標に設定しました。3月末で2023年度目標に対して40.1%の増加となりました。主な要因として、原料由来の廃棄がありました。前年と比較すると発生量自体は減少しました。

【2024年度の取組】

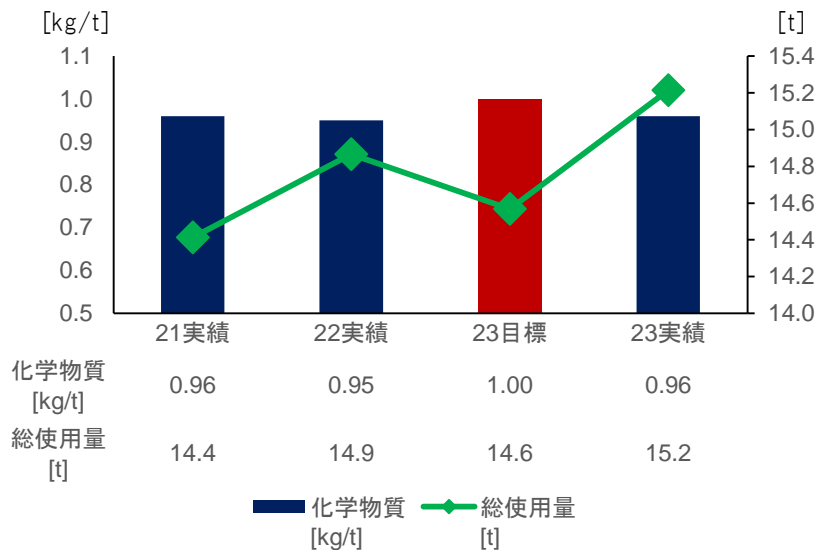
工程トラブルやライン停止による製品廃棄量の削減を図り、食品廃棄物等発生量削減を目指します。

<2023年度_食品廃棄物等発生量及び再資源化等実施率>

- ・発生量:195.6t ・有価物量:0t ・発生抑制量:290.0t
- ・再生利用量:195.6t (メタン化:125.9t | 肥料化:69.7t)
- ・熱回収量:0t ・減量量:0t・再利用等以外の量:0t
- ・廃棄物としての処分量:0t・再生利用等の実施率:100.0%

■ 食品廃棄物 [kg/t]
 ◆ 総発生量 [t]
 ● リサイクル率 [%]

7.環境経営活動の達成状況 評価及び次年度の取組③



■化学物質使用量削減

【評価(2024年3月末):○】

2019-21年度実績の平均に対して原単位2%削減を目標に設定しました。3月末で2021年度目標に対して4%の削減となりました。主な要因として、製造アイテムの構成と効率的な製造により原単位当たりの使用量は減少しました。

【2024年度の取組】

薬剤洗浄方法の見直しや、効率的な製造計画により引き続き使用量削減を目指します。

■製品の環境性能の向上及びサービスの改善

【評価(2024年3月末):○】

環境負荷低減に役立つ加工技術、新容器、原材料等の探索案件8件以上を目標に設定しました。調達課、商品開発課、農業生産課、管理部にて本目標を設定しました。3月末で探索案件は8件でした。探索案件の内訳は採用が4件、継続が3件、保留が1件になりました。

【2024年度の取組】

2023年度に引き続き、環境負荷低減に役立つ加工技術、新容器、原材料等の探索を継続し、更なる環境負荷低減に繋がる活動を推進していきます。

8.環境関連法規の順守状況と関連事項

主な適用法規等	当社の順守状況
大気汚染防止法	ばい煙発生施設の新設なし (過去のばい煙に対する汚染負荷量賦課金の支払)
フロン排出抑制法	フロン機器の点検4回/年、定期点検1回/年の実施 フロン機器の廃棄時のフロンガス回収に対しての順守
水質汚濁防止法	排水処理の排出基準において超過なし
容器包装リサイクル法	再商品化義務量の報告 再商品化実施委託料の支払
廃棄物処理法（一般廃棄物・産業廃棄物）	松本地域振興局環境課へ報告書提出（6月） (マニフェストの交付に関する報告書の提出)
食品リサイクル法	関東農政局へ報告書提出(6月)
騒音規制法	特定施設の新設なし
振動規制法	特定施設の新設なし
工場立地法	届出済
特定工場法（公害防止組織法）	公害防止管理者（大気四種）選任

順守状況確認日：2024年3月22日

□環境コミュニケーション

環境関連法規の順守に関して、過去3年間法令等の違反はありません。
また環境に関する、苦情・関係当局からの指摘はありません。

【環境方針・環境目標・環境計画及び実施体制変更の必要性】

- | | |
|-------|------|
| ・環境方針 | 変更なし |
| ・環境目標 | 変更なし |
| ・環境計画 | 変更なし |
| ・実施体制 | 変更なし |

【統括的な見直し指示】

- ・FSSC(食品安全システム認証)で定められている文書の定期見直し時に、環境文書も見直しを行うようにしてください。
- また、手順を改訂した際にも関連する文書類の見直しを行うようにしてください。

【2024年度の取組】

- ・環境負荷低減の為に、二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減、水使用量削減、食品廃棄物等発生量削減及びリサイクル率100%維持、化学物質使用量削減に引き続き取り組みます。
- ・環境に配慮した製品づくりの為に、新規加工技術・新容器・原料等探索及び検討します。